

やまぜんホームズ (1440)

2019/7 通期も更なる収益改善から大幅増益へ

フィリップ証券株式会社
TOKYO PRO Market | 住宅建設 | 業績フォロー
BLOOMBERG 1440:JP | REUTERS 1440.T

- 2018/7 通期は、売上高が前期比 12.6%増の 66.81 億円、営業利益が 93 百万円、経常利益が 61 百万円、当期純利益が 41 百万円。期初会社計画を下回ったが、2 桁の大幅増収、完全黒字転換を果たした。
- マイホーム実現に向けたツアーを開催し、案内後の昼食に同社が運営する飲食店舗へ誘導。引渡棟数と飲食店の来客数増加の相乗効果を狙った施策を行っている。
- 2019/7 通期会社計画は、売上高が前期比 4.7%増の 70 億円、営業利益が同 82.6%増の 1.70 億円、経常利益が同 2.1 倍の 1.30 億円、当期純利益が同約 3 倍の 1.25 億円と大幅増益を見込んでいる。

What is the news?

2018/7 通期は、売上高が前期比 12.6%増の 66.81 億円、営業利益が 93 百万円、経常利益が 61 百万円、当期純利益が 41 百万円と 2 桁の大幅増収、完全黒字転換を果たした。住宅着工戸数が減少するなど環境は厳しいが、年間受注 300 棟を目標とした新 3 ヶ年中期計画では、目標には届かなかったものの着実に受注数を伸ばし、最終年度となった 2018/7 期は初年度の 201 棟に対し 238 棟となった。「基礎・構造・完成」までの行程見学、建築現場での監督や大工等からの説明などマイホーム実現に向けたツアーを開催し、案内後の昼食に同社が運営する飲食店舗へ誘導。引渡棟数と飲食店の来客数増加の相乗効果を狙った施策となっている。

2018/7 期のセグメント別収益は、主力の戸建住宅事業が、注文住宅の主力商品「わんこパック」で 140 棟 (2017/7 期 156 棟) と前期比 10.2%減、同商品以外の注文住宅 15 棟 (同 17 棟)、分譲住宅 67 棟 (同 17 棟) を引き渡し、注文・分譲用土地 67 筆、転売用不動産 5 件等を上げた。同事業は、売上高が同 11.4%増の 60.27 億円、営業利益が同 2.4 倍の 1.65 億円となった。和洋と多業態展開の飲食事業は、一部店舗で業態転換や閉店を行い、昨年閉店して遊休資産となった一部店舗については 2018/7 期 1H に 23,198 千円の減損損失を特別損失として計上。同事業は、売上高が同 3.7%増の 4.90 億円、営業損益が▲6,230 万円 (2017/7 期は▲1.07 億円) と赤字幅縮小となった。介護事業が主力のその他事業は、「マミーハウス介護センター」の他、認知対応型・共同生活介護のグループホーム「つばめ」、「ゆのやま」の 3 拠点を直轄運営。売上高は前期比 3.2 倍の 1.63 億円、営業損益は▲981 万円 (2017/7 期は▲3,651 万円) と赤字幅は大幅に改善した。

How do we view this?

1 次取得者層をターゲットに、料金設定がシンプルで価格訴求力のある注文住宅「わんこパック」を軸に収益拡大を目指す。2019/7 通期会社計画は、売上高が前期比 4.7%増の 70 億円、営業利益が同 82.6%増の 1.70 億円、経常利益が同 2.1 倍の 1.30 億円、当期純利益が同約 3 倍の 1.25 億円と大幅増益を見込む。事業部制導入による管理面強化、不動産開発事業を含む戸建住宅事業での新規出店の効果などを見込んでいる。

業績推移

事業年度	2014/7	2015/7	2016/7	2017/7	2018/7	2019/7予
売上高(千円)	3,219,623	3,928,576	4,555,303	5,932,369	5,976,810	7,000,000
経常損益(千円)	-316,414	-37,018	75,405	-112,426	61,387	130,000
当期純損益(千円)	-318,146	-63,877	34,870	-223,061	41,963	125,000
EPS(円)	-212.10	-42.59	23.25	-148.68	26.06	77.63
PER(倍)	-	-	21.51	-	19.19	6.44
BPS(円)	424.75	382.17	405.42	273.33	299.39	-
PBR(倍)	1.18	1.31	1.23	1.83	1.67	-
配当(円)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-

(※) 2016/10/31に1:100の株式分割を実施
(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

配当予想(円) - (会社予想)
株価(円) 500 2018/10/2(基準値)

会社概要

1978年、前野代表取締役社長が独立し、建築リフォーム業を目的としたやまぜん開発(現、やまぜんホームズ)を個人事業として創業。現在のやまぜんホームズは、2003年に資本金1,000万円で設立された。

注文住宅を中核として、地元の三重県のほか、愛知県、岐阜県、滋賀県で事業を展開している。今後も同地域内での事業展開エリアを徐々に拡大し、地域密着と価格訴求力により収益の拡大を目指している。現場第一主義を掲げ、「十年先もお宅でお会いしましょう」の理念のもと、アフターメンテナンスに注力している。2017/3に東京証券取引所 TOKYO PRO Marketに株式を上場した。2017/7に増資を行い資本金を5,750万円とした。

企業データ



主要株主(2018/1/31)	(%)
1.株式会社フロンティア	36.1
2.前野一馬	25.5
3.前野泰広	19.2

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

庵原 浩樹

hiroyuki.ihara@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL:<http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者：フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平14.1.25)」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当J-Adviserに就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っております。